

平成 28 年度 沖縄地区行政管理、評価・監査セミナープログラム

主催：総務省 沖縄行政評価事務所

日時：平成 28 年 12 月 9 日(金)9:45～16:00

会場：那覇第 2 地方合同庁舎 1 号館 2 階共用大会議室

区分	講演時間	講演テーマ	講演内容	講師等
開会	9:45～ 9:55	ガイダンス		
	9:55～ 10:00	開会あいさつ		沖縄行政評価事務所 所長 高江洲 辰也
講演 I	10:00 ～ 11:30 (90分)	行政監査に期待される役割について考える ～国立大学法人監査の現場から～	国立大学は、平成 16 年 4 月に文部科学省の機関から大学ごとの法人に移管し、役員会、経営協議会及び教育研究評議会のいわゆる「法定 3 会議」による法人経営の新体制に移行するとともに、法人の監事監査制度も新たに導入された。 本講演では、この制度の概要と琉球大学の監査業務について紹介し、監査制度の共通的基本理念について理解を深め、行政監査に期待される役割について考察	国立大学法人琉球大学 監事 嘉目 克彦氏  (前大分大学副学長 (理事)、元大分大学 経済学部長)
休憩	(昼休憩)			
講演 II	13:00 ～ 14:30 (90分)	まちの価値や取り組みの質を高める政策評価の本質とは ～習志野市における協働型プログラム評価の実践～	評価とは、新しい価値を見出し、政策をブラッシュアップして、地域に集う人を幸せにするために行うものである。計画や目標は絶対ではなく、それが未熟で不完全だからこそ、効果的に改善・改革することが大切で、このたゆまない改善・改革こそが評価の本質である。 本講演では、このように講師の考える政策評価の本質について説明しつつ、市民とともに戦略をつくり、まちの価値を高め、人を幸せにする「協働型プログラム評価」の実践、運用について解説	習志野市協働経済部男女共同参画センター 所長 芹澤 佐知子氏  (明治大学プログラム評価研究所客員研究員)
休憩	(10分休憩)			
講演 III	14:40 ～ 15:55 (75分)	行政評価局調査のテーマ選定の視点と具体例	政府内において施策や事業の担当府省とは異なる立場から各府省の業務の実施状況等を实地に調査する行政評価局調査について、その特色や実施の流れ、調査テーマ選定の際の基本的な考え方・視点等を紹介	総務省行政評価局企画課 企画官 渡邊 靖
閉会	15:55 ～ 16:00	閉会あいさつ		沖縄行政評価事務所 次長 辻 貴吉

(注) 講演時間には、質疑応答時間 (10分～15分程度) を含む。